

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果 京都市立金閣小学校

4月23日に、本校6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果をまとめました。本調査は、国語と算数の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

【総合結果（国語・算数）】

国語・算数ともに全国平均を下回りました。両教科とも自分の考えを表現したり、解き方を説明したりする力に課題が見られます。そのため、表現力の向上を重点に据え、考えを伝え合う活動を充実させるなど、授業改善を進めていきます。

国語科より

国語科では、基礎的な読み取りや一部の言語事項については一定の理解が見られる一方で、情報を整理・活用しながら自分の考えを表現する力に課題が見られました。

特に、資料や文章から必要な情報を選び、根拠として用いながら考えをまとめることや、情報同士の関係を捉えて理解することに苦手がうかがえます。また、相手に分かりやすく伝えるための構成や表現の工夫、記述による説明にも課題が見られました。

今後は、情報を活用して根拠を明確にしながら表現する学習活動を増やし子どもたちが言葉で表現する力を育てていきたいと思います。

算数科より

算数科では、基礎的な知識や技能の一部は身に付いているものの、それらを活用して考えたり説明したりする力に課題が見られました。

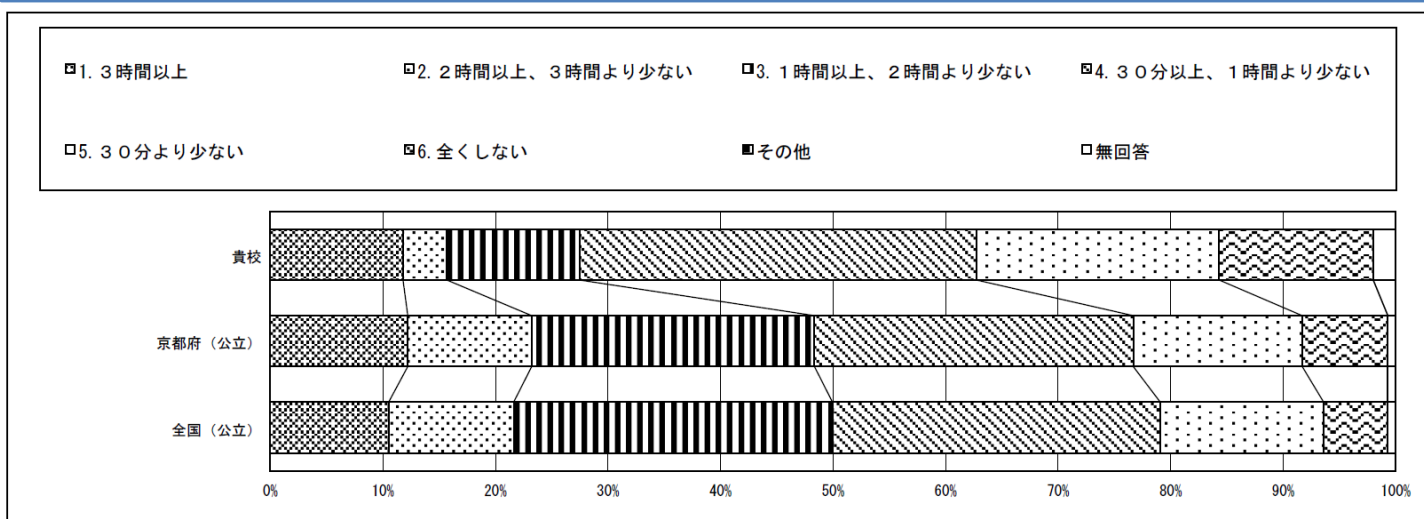
特に、割合や数量の関係を捉える問題、表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取って判断する問題でつまづきが見られました。また、自分の考えや解決方法を筋道立てて表現することにも課題があり、思考の過程を式や言葉で説明する力の育成が必要です。

今後は、考え方を交流しながら根拠をもって説明する学習活動を充実させていきたいと思います。

まずは、各教科のまとめやふり返りを その時間に使ったキーワードを使って書いてみましょう。
授業中には、問題の解き方や、自分の考えを順序立てて友達に話してみましょう。

【児童質問紙調査から】

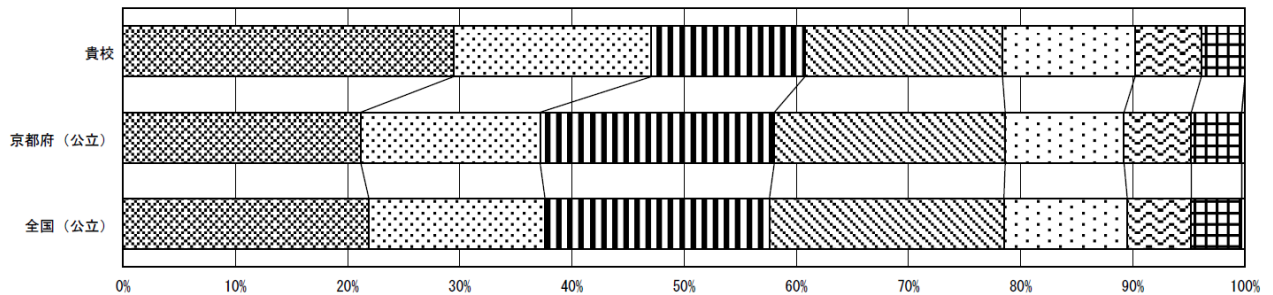
設問23 学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1 日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



今回の調査では、平日に3時間以上学習している児童は10%を超えていました。一方で、1時間未満の児童は70%を超えており、そのうち「全くしていない」と回答した児童も10%を超えていました。これらの結果は、京都府や全国の状況と比較しても高い割合であり、多くの児童に家庭学習の習慣が十分に定着していない実態がうかがえます。一般的に、家庭学習時間の目安は「学年×10分」と言われており、6年生であれば1時間以上が一つの目標となります。中学校進学を見据え、宿題に取り組むことはもちろん、少しずつ自主学習にも取り組み、自ら学ぶ習慣を身に付けてほしいと考えています。

設問4 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機テレビ等で SNS や動画視聴などをしますか。](それらで学習する時間やゲームをする時間は、のぞく)

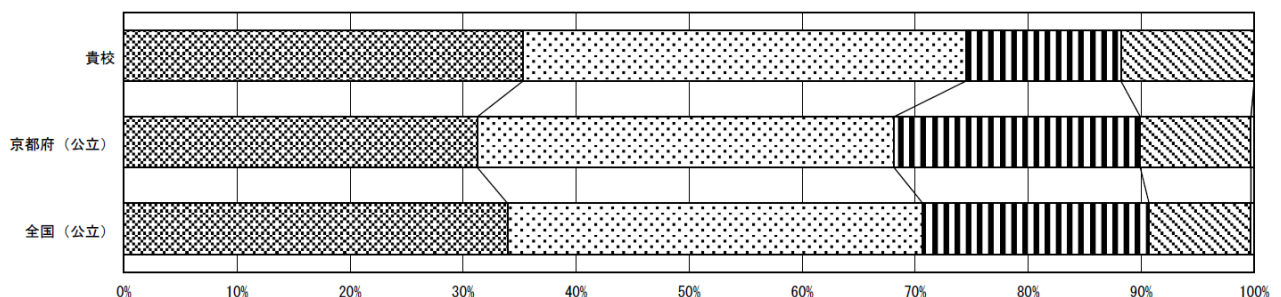
- ☐ 1. 4 時間以上 ☐ 2. 3 時間以上、4 時間より少ない ☐ 3. 2 時間以上、3 時間より少ない
☐ 4. 1 時間以上、2 時間より少ない ☐ 5. 30 分以上、1 時間より少ない ☐ 6. 30 分より少ない
☐ 7. スマートフォン等を持っていない ☐ その他 ☐ 無回答



平日のスマートフォン等の使用時間については、4 時間以上と回答した児童が 30% 近く、3 時間以上では 50% 近くにとのぼり、多くの児童が SNS や動画視聴等に時間を費やしていることが分かりました。この割合は、全国や京都府と比較しても高い状況です。また、この数値にはゲームをしている時間は含まれていないため、実際のメディア利用時間はさらに長くなることが予想されます。この結果は、前述した家庭学習時間の状況とも深く関係していると考えられます。スマートフォン等の使用時間が長くなることで、家庭学習の時間や睡眠時間が十分に確保できず、子どもたちの生活リズムや体調にも影響を及ぼしている可能性があります。スマートフォン等の望ましい使い方については学校でも継続して指導していますが、ご家庭においても使用時間や利用方法についてルールを決めるなど、子どもたちが適切にメディアと関わるができるよう、ご協力をお願いいたします。

設問13 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

- ☐ 1. 当てはまる ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない ☐ 4. 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答



京都府や全国と比較すると、「1. 当てはまる」「2. どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合は高く、本校にとって大変うれしい結果となりました。金閣小学校では、困り感を抱えている子どもに対して「どうしたん。」を合言葉に、子どもたちに寄り添いながら支援することを大切にしています。一方で、アンケートでは「4. 当てはまらない」と回答した児童もいました。この結果を真摯に受け止め、子どもたちが良いことも悩んでいることも安心して話せる信頼関係づくりをさらに進めていきます。また、担任だけでなく、すべての教職員が子どもたちと関わり、見守る学校体制をより一層充実させていきます。

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学習状況を把握し、そのよさを伸ばし、課題の改善につなげるためのものです。結果は学力の一面を示すものであり、順位を競うものではありません。

学力は、学校・家庭・地域が連携し、望ましい生活習慣や学習習慣を積み重ねることで育まれます。本校の結果からは、ご家庭での温かい関わりや支援の成果がうかがえる一方で、課題も見られました。今後も、子どもたちの健やかな成長と学びの充実に向けて、ご協力をお願いいたします。